

令和5年度 第2回 射水市教育振興基本計画策定懇話会 会議録

(日 時) 令和5年10月12日(木) 15:00~16:58

(場 所) 射水市役所 401会議室

(出席者) 委 員：成瀬喜則、藤井徳子、高畠章司、中島博美、川腰喜久雄

浅村豊、漁幸子、小竹信成、櫻野栄子、中神知佐子(10名)

事務局：16名

協議事項

(1) 第1回射水市教育振興基本計画策定懇話会会議録

第1回会議委員意見の対応について

(質疑応答) なし

(2) 第2期射水市教育振興基本計画(素案)について

*資料に基づき事務局説明

*資料に基づき委員より意見聴取

(質疑応答)

【会長】P2の基本目標について、内容は変えないが、...豊かな心を築きます、...生き抜く力を育みますといった表記についての整合性の検討をお願いしたい。

【委員】P4取組内容にある「射水トライアル3点セット」が分からない。用語解説を追加できるか。

【事務局】「射水トライアル3点セット」とは、若手職員への指導技術を継承するため授業の基本的な進め方、協議会の進め方、授業力向上のテクニックをまとめた支援ツールのようなものである。市内小中学校の教員に配布している。用語解説に追加する。

【委員】P4施策の方向性にある「主体的協働的に学び合い」という言葉はない。「主体的な学び、協働的な学び」はよく使われている。「学び合い」につなげる言葉も検討してほしい。

【事務局】検討する。

【委員】P5、上から2行目の「問題発見・問題解決型の学習」という言葉があるが、よく使われているのは「問題発見・解決型の学習」である。もしくは「問題発見・課題解決型の学習」か。文部科学省のホームページを確認してほしい。現状と課題の中

にも「問題（課題）発見、解決」（下から3行目）があるので統一した方がよい。

（下から4行目）「基本的な知識・技能や思考力、判断力」は「基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力」だったと思う。

【委員】P9の表は、全国、県、市のどの統計なのか。記載が必要。他の表も同様である。

【事務局】市である。記載する。

【委員】P9の表「いじめ問題行動等の件数」は「いじめ問題行動等の認知件数」と表記した方がよい。「暴力行為の件数」の表は必要か？「いじめ問題行動等の件数」に対して「いじめの解消率」を示した方が、説得力がある。

【事務局】教育に関する事務の点検・評価では「いじめの解消率」を記載している。意見を踏まえて検討する。

【会長】P6取組内容にある「とやま型学力向上プログラム 期」の具体的な説明は？

【事務局】P5現状と課題の二つ目に説明をしているため、用語解説を入れなかった。

【会長】P6取組内容の「チーム・ティーチング指導員」は教員免許を有する者で間違いないか。

【事務局】間違いない。

【委員】P9取組内容に、「自尊感情を育み」とあるが、いじている人は自尊感情が高い。いじめられている人は自己肯定感がないので「自己肯定感を育み」がよいと思う。

【会長】P11取組の基本方向の3点目に、全ての児童生徒が安心して学ぶことができる居場所づくりとあるが、どこでの居場所なのか。

【事務局】学校に来ることが出来ない子どもには教育支援センターを、学校には来れるけれど学級には入れない子どもには校内教育支援センターという居場所づくりに努める。学びの場所が必ずしも学校や教室ではなく、子どもにとって学びやすい環境を用意したい。

【委員】P11取組内容の5つ目「教育支援センターにおける社会的自立に向けた支援」とあるが、文章からは社会的自立の支援や居場所づくりのような記述がないので、言葉を足した方がよい。

【委員】新規と書かれている取組内容は、これから取り組むものなのか。

【事務局】取組内容に記載のある、新規や変更については現行計画において、方向性に無い（又は変更している）ものを分かりやすいように記載した。既に実施している取組もあり計画策定段階では、最終的に新規及び変更の表記は削除する。

【委員】P12用語解説中「教育支援センター」について、市内1箇所とあるのはこれからできるのか。

【事務局】現在1箇所ある。

【委員】P6取組内容の「小学生学び応援塾」は小学生3年生のみが対象か。感染症で1週間ほど休むだけで授業が分からなくなることもある。

【事務局】算数が難しくなる学年を重点的に取り組んでいる。

【会長】P6取組内容の「A Iドリル等学習支援ソフトを家庭学習に積極的に活用する」とあるが、授業では活用しないのか。

【事務局】家庭学習の促進における項目のため、授業のことは記載していないが、P22で表現している。

【会長】P22との整合性を取った方がよい。

【事務局】個別最適な学び等協働的な学びの推進の取組内容(P5)で、教育活動において取り組むことを記載している。

【委員】P8取組内容「教員、学校司書等による読書への関心を高める取組の推進」について、やっていることを推進するのは発展性がなく、具体的な取組の方向を明記した方が分かりやすい。家庭でも本を読むことが少なくなった。家庭でも取り組む方向性に持っていくとよい。

【会長】P20取組の基本方針「書物から知識として学ぶ」とあるが、インターネットからも得られる知識だけではないということを強調したいので、インターネット(ネット)も入れてほしい。

P23用語解説に「MESH」「マイクロビット(記載するならアルファベット表記)」が出てくるが、商品名である。文部科学省は具体的な商品名は記載していない。記載する場合は、登録商標であることを表記した方がよい。高校の教科書では「本書に掲載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。」と記載してある。P10のWEBQUも含めて検討してほしい。

P24取組内容「教員とALTがチーム・ティーチングにより」とあるが、先ほど述べたP6のチーム・ティーチングの定義が教員免許を有する者となっている。ALTは教員免許を有していないので、例えば「教員とALTが共同して」とした方がよいと思う。

【委員】P20施策の方向性「学ぶ喜びや充実感を体験しながら」とあるが、学ぶ喜びと充実感は並列するものではないため、「学ぶ喜びを感じる」「充実感を味わう」が良いと思うが、体験という言葉を重ねることが難しい。代案として「学ぶ喜びや充実感を味わいながら」があるが、他に言葉があればよい。

現状と課題「知識や経験を実感として学ぶ「ふるさと学習」」の「知識や経験を実感」に違和感がある。ここでは一般的な知識や経験ではなく、自分事に捉えるイメージなので「実感を伴った「ふるさと学習」」がよいと思う。

Ｐ２１「環境教育等、持続可能な社会を目指す学習の推進」の基本方向１点目、持続可能な能などあるが、持続可能であり誤字である。

【副会長】Ｐ２１ 環境教育等、持続可能な社会を目指す学習の推進とされているが、「学習の推進」だと、小中学校のイメージがあるため、幼保小も踏まえる「教育の推進」としてほしい。

【委員】Ｐ２２現状と課題「デジタルシチズンシップ」は文部科学省では「デジタル・シチズンシップ」としている。合わせるといいと思う。

【会長】Ｐ２８ 教員の資質能力の向上において、現状と課題で「主体的な学びを支援する伴走者としての役割が求められています」とあるが、最近、続かない先生が増えている。先生同士が孤立化してお互いに助け合うことが弱くなった。資質向上に入るか分からないが、「教員の同僚性を高める取組」を挙げることはできないか。マイスター教員もその意図があると思うが、伝えるだけではなく学び合って進めていくことを表現してほしい。

【事務局】現状と課題の二つ目「指導技術を伝承する」というところで検討したい。

【委員】Ｐ３１「基本的施策（８）幼児教育の推進」において幼児教育の中身の充実が薄い。例えば、主な取組の１番目に幼児教育のカリキュラムの充実や推進を入れることは出来ないか。高岡市の第３期の計画では、豊かな学力の定着というところで、学びのスタートが幼児教育と捉えており、富山県の計画にも幼児教育の質の向上とある。射水市でも検討してほしい。

【会長】主な取組を追加するのか、「相互連携の推進」の言葉を変えるのか、現状と課題に主体的かつ対話的で深い学びの実現を図るといような記載があるので、これを受けて基本方針や取組内容に含むことも考えられる。

【事務局】検討する。

【委員】Ｐ３２取組内容「アドバイザーから助言を受けることで」とあるが、アドバイザーは教員の資質能力の向上だけではなく、幼児教育の質の向上を図ることを目的とされているので、それを含めて記載してほしい。

【会長】アドバイザーの役割は幼児教育の質の向上を図ること、相互連携を深め教育の円滑な整備を図ることが目的なので、Ｐ３１にもアドバイザーの記載が必要であると思われる。

【会長】Ｐ３５取組内容「子育て井戸端会議の実施」において、「就学時健診等学校行事の隙間時間を利用して」とあるが、隙間時間というと片手間な感じがするので、「学校行事がある日を利用して」と表現した方がよい。

【委員】P 3 4 現状と課題「他人と関わることができない愛着障害を示す子どもや」とあるが、他人と関わることができないことと愛着障害はイコールではないので、他人と関わることが苦手くらいの表現が良い。

【委員】P 3 4 現状と課題「朝食を毎日食べているか」の質問に回答した選択肢別の平均正答率の表をみると小学生は「全くしていない」が一番成績が良い。これは射水市の統計か。

【事務局】射水市である。小学生は朝食を全く食べていない人数が少なく、たまたま、そのうち成績が良い者がいたため平均正答率が高くなっている。

【委員】朝食を食べることと学力の因果関係があるか分からない。学力より体力とつなげる方が良いと思う。この表の必要性についても疑問である。

【事務局】全国の数値とするのか、表をのせるかも含めて検討する。

【会長】P 4 0 取組内容の二つ目「コミュニティセンターの活用」について、学習の機会を提供すれば活用が進むものなのか。例えば、指導する人、関わる人等の人の充実がないと、学習の機会を提供できない。もう少し学習の機会の提供というものを具体的に分ければよい。

【委員】市の計画は義務教育に特化されたものという印象を受けた。国や県の基本計画では義務教育だけではなく、社会全体が学び合う事が挙げられているが、市の計画にはあまり拾われていない。P 4 0、4 1ではコミュニティセンターの活動がほとんどであるが、コミュニティセンターの活動は8割以上がシルバー世代である。社会人や若い世代の学びがなく、リカレント教育や学び直しという視点が薄い。例えば民間やNPOとの連携をして、いろいろな学びの機会を選択できるようにすることが必要。

【会長】市では高校や大学は盛り込みにくいところもある。中堅層のリスキリング教育などは国や県が重点的に行っており、市はシルバー世代が多くなるのかもしれない。射水市が本当に学び合える市であってほしいという一般市民の目もあるので、どこまで盛り込めるか検討が必要である。

【会長】P 4 1 「生涯学習の新たな在り方の検討・推進」のところだが、P 4 2 取組の基本方針で「市内各地の魅力や問題点等の情報の共有しながら」とあるが、取組内容にあまり情報共有について書かれていないので、検討してほしい。

P 4 2 「図書館機能の充実」における現状と課題の5点目「読書離れ」について、現状のままであるとそのまま進むだけなので取組が必要。P 4 3の取組内容に記載できるか。

【事務局】P 4 3 年齢別登録者・実貸出者数の表では年齢が高くなると割合が低くなっているが、学生は図書館で勉強していることが多い。登録人数は2～3年以上利用していない人の数も含まれるため、年齢があがると実貸出者数の割合が低くなる。

- 【委員】子供は新聞を読むのか。統計は取っているのか。
- 【事務局】学力状況調査で中学3年生と小学6年生のデータは取っているが、低い。
- 【委員】核家族世帯も増えており新聞を読まない子どもが増えていることに懸念がある。
- 【委員】電子図書は検討しているのか。読書離れに一石を投げれるのでは。
- 【事務局】電子図書は他市で導入しているところもあるが、射水市では導入していない。検討中である。
- 【会長】自宅で電子図書が読めることが大事になる。
- 【事務局】電子図書については研究していく。
- 【委員】視覚障害者や聴覚障害者が利用できる機械が施設にあるのか。
- 【事務局】図書館では視覚障害者の方に、ボランティアの方が音源をCDに落としたものを貸出ししている。また、大活字本の貸し出しも行っている。
- 【会長】全体としては幼児教育と生涯学習のところでどこまで盛り込めるかを検討してほしい。
- 【委員】P25 施策の方向性「安心・安全」と取組の基本方向「安全・安心」の順番を統一してほしい。
- 【会長】P10 WEBQU調査の教員の研修はあるか。
- 【事務局】ある。
- 【委員】P15 「学校給食の充実、食育の推進」のところで、大人も子供もスマホを見ながら食事をする光景をよく見る。家族団らんで食事をするということを推進してほしい。
- 【会長】例えば、家族でのコミュニケーションを大切にという文言が入るか検討してほしい。

その他

第3回会議日程 令和5年11月14日(火)午後3時から